



Flash News

三重大学

第54号

目次

- 国際規格「ISO14001」の認証を取得
- 「第1回三重大学先端研究シンポジウム」を開催
- 「三重大学・鈴鹿医療科学大学合同公開講演会」を開催
- 2007年 三重大学国際交流週間 (Int'l Week 2007 Mie Univ.)を開催
- 発明コンクール&講演会
- 「タイ・タマサート大学とビデオ会議・模擬講義・セミナー」を開催
- 「青少年のための科学の祭典」第5回三重大学大会
- 「第1回三重大学学内駅伝大会」を開催
- 「平成19年度外部研究資金獲得セミナー」を開催
- 三重大学学内GP講演会
- 三重大学国際交流センター留学生交流パーティー
- 平成19年度第2回三重大学マネジメントセミナーを開催
- 研究科長および学部長選出

お知らせ&ご報告

国際交流センターから

国際規格「ISO14001」の認証を取得



12月11日、三翠ホールにおいて、ISO14001認証登録証の授与式が執り行われ、BSIジャパン株式会社森総括マネージャーより最高環境責任者：豊田長康学長へISO14001認証登録証が授与されました。学生が主体の「環境ISO学生委員会」と教職員による「環境ISO推進室」が全学の協力を得ながら約2年間築き上げた環境マネジメントシステムによる、環境に配慮した教育・研究、社会貢献および業務運営が高く評価されたものです。また、総合大学（附属病院を除く5学部）が一括で認証を受けたのは全国で初めてです。同式では、朴 総括環境責任者と吉田学生委員長から近隣住民との町屋海岸清掃活動、環境報告書の作成、全学生と教職員へのエコバッグ配布について、また、大学生協から店舗のレジ袋有料化について報告がありました。

「第1回三重大学先端研究シンポジウム」を開催

12月7日、コラボ産学官プラザ in TOKYOにおいて、現在、医学・生物学分野で注目されているゼブラフィッシュをテーマに標記シンポジウムが行われ、約50機関（うち民間企業約40社）から約100名の参加がありました。まず最初に西村訓弘教授・医学系研究科より、最先端のゼブラフィッシュ研究について基調報告があり、続いて、田中利男教授・医学系研究科、田丸 浩准教授・生物資源学研究科、青木直人准教授・生物資源学研究科と株トランスジェニック研究開発部長の能勢 博氏、デリカフーズ株開発室長の田井中俊行氏より、それぞれ現在行っている研究内容が紹介されました。会場には、生きたゼブラフィッシュおよび孵化直前の卵を顕微鏡で観察出来るコーナーも設け、大変好評でした。また、シンポジウム終了後の交流会でも、活発な意見交換が行なわれていました。

「三重大学・鈴鹿医療科学大学合同公開講演会」を開催

12月4日、鈴鹿医療科学大学のX線記念ホールにおいて、標記講演会が開催されました。これは、本年6月22日に締結された本学と鈴鹿医療科学大学との包括的連携に関する協定に基づいて合同で行う最初の行事です。両大学長の開会挨拶および鈴鹿医療科学大学理事の経過報告に引き続き、本学内田附属病院長による基調講演「三重県の医療～現状と今後の在り方～」、記念シンポジウム「三重県における医療人教育と健康医療福祉」が行われました。記念シンポジウムでは、両大学の4名の教授と三重県医師会・薬剤師会・薬事工業会の各会長がそれぞれシンポジスト、コメンテーターとなり、活発な討論が行われました。当日は、県内の大学・医療関係者等約300名が参加し、盛況のうちに終了しました。



2007年 三重大学国際交流週間 (Int'l Week 2007 Mie Univ.)を開催

12月5日～8日、市民参加型の国際交流イベントとして、世界の国々の多様な文化の理解を深めるため開催されました。内容は、日本語および英語のスピーチコンテスト、フォトコンテスト、パネル展、アジア映画上映会、国際交流パーティなど多岐にわたるものでした。7日に行われた国際交流パーティでは、留学生の母国の自慢料理などが振る舞われ、教職員併せて約70名が参加しました。また、余興としてよさこいサークル「極津」の演舞および「白山倭人」によるエイサーなどが披露され、国際交流を深めるとともに、楽しいひとときを過ごしました。

発明コンクール&講演会

12月7日、平成16年度採択現代GP「全学的な知的財産創出プログラムの展開」に伴う平成19年度学生発明コンクール表彰式が行われ、優秀提案者3名(前川卓哉さん・工学部3年生、吉田和代さん・教育学部1年生、坂田佳世さん・医学部4年生)が表彰されました。引き続き、高等教育創造開発センターとの共催で、東京大学客員教授の妹尾堅一郎氏による「互学互修モデルの薦め」と題した講演が行われ、学生から教員まで幅広い年代の参加者が興味深く聴き入っていました。

「タイ・タマサート大学とビデオ会議・模擬講義・セミナー」を開催

11月27日、生物資源学研究所は、タイ・タマサート大学とポリコムを使ったビデオ会議（タイからは、ソムチャイ科学技術学部長他11名の学務関係教職員等の委員と本学の神原教授、江原教授、伊藤良栄助教、日本側では、本学田中晶善評議員他9名の関係教職員）を開き、教育研究交流の推進に向けた協議が行われ、会議後には、タイから伊藤助教が模擬講義を行うとともに、両大学の院生が話題提供するセミナーを開き、活発な討論が行われました。

「青少年のための科学の祭典」第5回三重大学大会

12月1日～2日、標記大会が三翠ホールで開催されました。科学実験や工作などの出展ブース数は34で、2日間の参加者は2,700名となりました。今回は、本学と中部電力(株)との共催による、第1回「サイエンス on ステージ」を大ホールで同時開催しました。講師には、県内の小中学校の先生や本学教員をはじめ、全国各地の科学館のサイエンスショーで人気の高い「科学の達人」にも来ていただき、参加者にはブースとともにショーも楽しんでもらえました。



「第1回三重大学学内駅伝大会」を開催

12月8日、生物資源学部走ろう会、トライアスロン部、大学生協による実行委員会(委員長：取出伸夫教授・生物資源学研究所)の主催により、標記駅伝大会が開催されました。生物資源学部の前身である農学部時代の駅伝大会を復活させようと学内外に参加を募ったところ、陸上部の6チームを含めた研究室、サークル、地元の中学校など計35チーム、約220名の参加がありました。陸上競技場付近の1周25キロのコースを、たすきをリレーしながら7周して汗を流しました。来年も、より多くの参加者を募って開催する予定です。



「平成19年度外部研究資金獲得セミナー」を開催

12月10日、三翠ホールにおいて、塩満典子お茶の水大学教授・学長特別補佐による「外部研究資金の獲得策について」という演題で標記セミナーが開催されました。講演は、科学技術政策、競争的研究資金制度、人材養成・確保・活躍促進、女性研究者支援および産学連携の助成金制度など、本学の外部研究資金獲得の方向性を考える上で非常に参考となりました。また、拠点研究や研究資金獲得のための本学研究と応募事業とのマッチングのあり方等に関する有意義な質疑応答の他、附属図書館長室にて科学技術振興調整費事業等具体的な内容について積極的な意見交換が行われました。今後も外部研究資金獲得に向けたセミナーや説明会を開催していく予定です。

三重大学学内GP講演会

12月15日、高等教育創造開発センター主催による、標記講演会が開催されました。大学教育に造詣の深い池田輝政名城大学副学長による講演では、学内で教育GP（教育の質向上へ向けた取組）を育て、学外から評価される取り組みへと発展させる上で、大学執行部の果たす役割の重要性が指摘されました。また、学内で取り組まれている教育GPの取り組み担当者から、各取り組みの概要が3件報告され、外部講師と参加者による熱心な討論を通じて、取り組みのさらなる発展へ向けたアイデアが多数出されました。

三重大学国際交流センター留学生交流パーティ

12月19日、三翠ホールにおいて、標記パーティが開催されました。学長・理事を始め各部局長、留学生の指導教員、留学生、MAFF・まなびやの学生サークルおよび皇學館大学、国際ソロプチミスト三重、鈴鹿国際大学からの来賓者など約260名が参加。気軽に話し合うことで国際交流を深めるとともに、応援団による盛大なパフォーマンスを觀賞するなど楽しいひとときを過ごしました。

平成19年度第2回三重大学マネジメントセミナーを開催

12月20日、メディアホールにおいて標記セミナーが開催されました。このセミナーは、本学経営協議会委員を講師に迎え、役員・幹部職員を始めとする本学教職員を対象に実施されているものです。第1回は7月26日に、山岸和夫氏(元(株)イオンテクノサービス取締役会長)を講師とし、「イオンの経営に学ぶもの」と題して行われました。今回は宮崎由至氏((株)宮崎本店代表取締役社長)より、「わが社の経営品質への取り組み」をテーマに、顧客満足・社員満足・社会的責任を柱とした経営についてご講演いただきました。宮崎氏の明快な語り口に、参加した約70名の教職員は、熱心に聴き入っていました。

研究科長および学部長選出

大学院医学系研究科では、駒田美弘教授を研究科長に再任されました。任期は、2008年4月1日より2年間です。人文学部では、櫻谷勝美教授を学部長に選出されました。任期は、2008年4月1日より2年間です。

お知らせ & ご報告

国際交流センターから - 《学長表敬訪問 & 大学訪問》

○ミャンマー・初等教育グループ

1. 日 時：平成19年10月31日9:20～10:00
2. 訪問者：初等教育教諭 25名
3. 同席者：山根附属中学校長

○フィリピン大学(フィリビ)

1. 日 時：平成19年11月21日9:30～10:00
2. 訪問者：クルスピーノ サクラウシ ビザヤス校副学長
3. 同席者：前田生物資源学研究所教授
江原生物資源学研究所教授

○江蘇大学(中国)

1. 日 時：平成19年11月27日9:30～10:00
2. 訪問者：梅強 工商管理大学院院長
3. 同席者：石田生物資源学研究所教授

